

令和3(2021)年度以降の大学入学者選抜について(第3報)

令和元年11月1日に文部科学省から令和2(2020)年度からの英語民間試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」の導入見送りが発表されました。この発表を受けて、日本歯科大学では、英語民間試験の活用について再度検討した結果、令和3(2021)年度入試では総合型選抜(現行のAO入試)と学校推薦型選抜(現行の推薦入試)で出願要件として活用を検討していましたが、出願要件としては活用しないこととします。

また、同年12月17日の「大学入学共通テストにおける記述式問題」導入見送りが発表されました。これを受け本学では、既にお知らせしておりました共通テストにおける記述式問題の評価に関する内容を削除します。

現時点では、以下のような基本方針で変更することをお知らせいたします。

1. 入学者選抜区分の名称変更

各入学者選抜区分の名称を以下のように変更します。

変更前	変更後
一般入試	一般選抜
大学入試センター試験利用入試	一般選抜(大学入学共通テスト利用入学選抜)
推薦入試	学校推薦型選抜
AO入試	総合型選抜

2. 学力の3要素の評価

すべての入学者選抜区分で学力の3要素を評価します。

日本歯科大学では、すでにすべての入学者選抜区分で学力の3要素の評価を行っていますが、現行の選考方法をベースとしつつ、この3要素をより多面的・総合的に評価できるよう、種々の改善を検討しています。

3. 大学入学共通テスト利用入学選抜

現行の大学入試センター試験に代わる「大学入学共通テスト」を利用します。

4. 英語外部資格・試験の活用

令和3(2021)年度入試では総合型選抜(現行のAO入試)と学校推薦型選抜(現行の推薦入試)で出願要件として活用する方向で検討していましたが、活用しないこととします。

5. JAPAN e-Portfolioなどのe-ポートフォリオについて

JAPAN e-Portfolioなどのe-ポートフォリオは活用しません。